

2023年3月期第2四半期 決算説明資料

2022年11月9日（水）

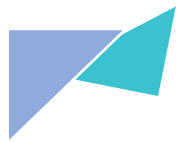
株式会社 **力ネ力**



目 次

業績概要	1
セグメント別 売上高・営業利益	2
事業概況	3
貸借対照表	7
キャッシュ・フロー計算書	8
連結業績予想の修正	9

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



業績概要

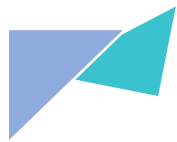
(単位：億円)

	2022年3月期 2Q累計	2023年3月期 2Q累計	増減	
			金額	%
売上高	3,303	3,806	503	15.2%
営業利益	230	208	△ 22	△9.6%
経常利益	209	225	16	7.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	148	166	18	12.2%
1株当たり四半期純利益	226.35円	252.67円		

(世界経済の状況－先行きの不透明感が広がる－)

- コロナ感染による社会影響が緩和に向かう
- ウクライナ情勢の混迷、エネルギー・原材料価格の高騰と下落、世界的なインフレの加速と金利上昇による景気減速、大幅な円安進行など不安定な情勢で推移

(当社グループの業績－先端事業群が伸張り、経常利益・四半期純利益増－)



セグメント別 売上高・営業利益

(単位：億円)

	売上高					営業利益				
	2023年3月期			前年同期比		2023年3月期			前年同期比	
	1 Q	2 Q	2 Q累計	金額	%	1 Q	2 Q	2 Q累計	金額	%
Material SU	889	840	1,729	320	22.7%	108	79	187	7	4.1%
Quality of Life SU	450	422	872	45	5.4%	46	41	87	△7	△7.0%
Health Care SU	166	174	340	74	27.7%	39	37	75	23	43.0%
Nutrition SU	419	441	860	65	8.2%	8	13	21	0	0.8%
その他	3	2	5	0	0.5%	2	1	3	0	12.5%
調整額	-	-	-	-	-	△ 80	△ 85	△ 165	△46	-
計	1,927	1,879	3,806	503	15.2%	122	86	208	△22	△9.6%

※SU : Solutions Unit

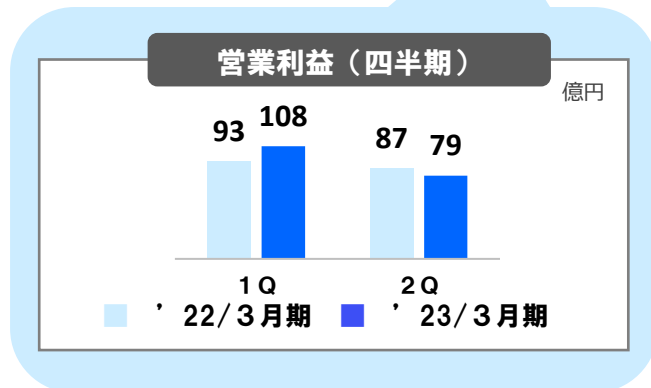
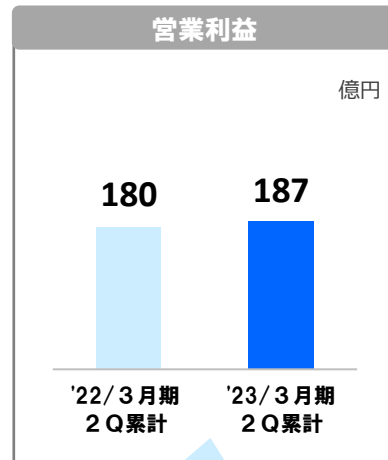
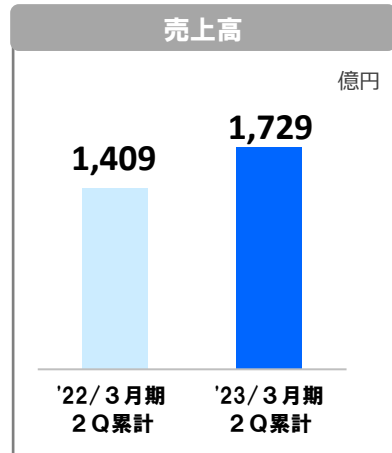
- 世界経済の減速感が強まるなか、Vinyls、MOD、E&Iが市場の需給調整や市況下落の影響を受けた
- 先端事業群（Health Careなど）は、独自の差別化技術による市場拡大が進み、順調に業績を伸ばし、事業ポートフォリオ変革は着実に進む



事業概況 (Material Solutions Unit)

売上高 1,729億円 (前年同期比 +22.7%)
営業利益 187億円 (前年同期比 +4.1%)

全体として2Q累計は前年を上回り、増収増益



Vinyls and Chlor-Alkali

- 塩ビのアジアスポット市況が2Qより軟化も、か性ソーダが業績を牽引し前年を上回る実績
- 今後はアジア市場の需給調整がカギ

Performance Polymers (MOD)

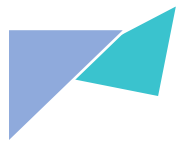
- 2Qに欧米住宅向け硬質塩ビ用途にブレーキ、2Q累計は前年下回る
- 非塩ビ用途の開発、R&B活動を強化

Performance Polymers (MS)

- シーリング材・接着剤用途向けの販売が堅調、前年並みの実績
- ベルギーでの能力増強8月に決定、本年度末に次の能力増強検討

Green Planet

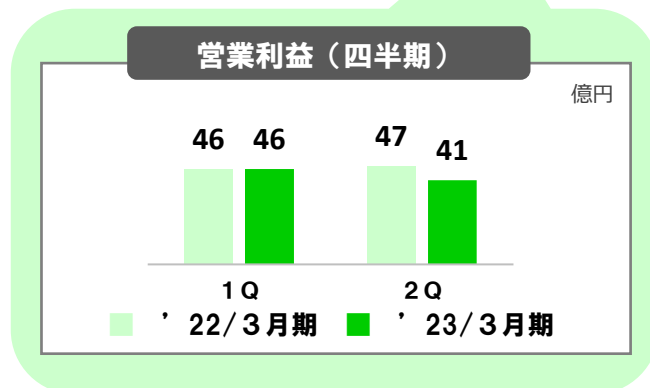
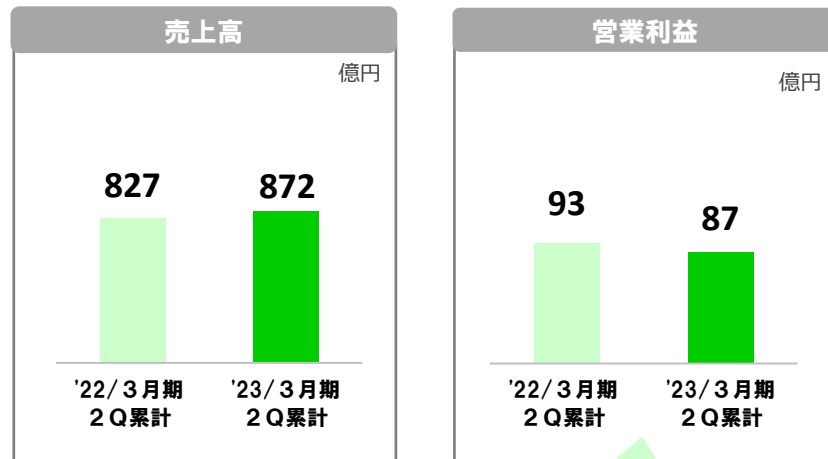
- 日欧米の大手ブランドホルダーとの共同開発が順調に進む
- 国の重点政策「バイオものづくり」の社会実装に向け、水素酸化細菌によりCO₂と水素からGreen Planetを生産する革新技术の研究開発に鋭意取り組む



事業概況 (Quality of Life Solutions Unit)

売上高 872億円 (前年同期比 +5.4%)
営業利益 87億円 (前年同期比 ▲7.0%)

E&Iの需給調整の影響を受け、増収減益



Foam & Residential Techs

- 価格改定に注力。国内需要は1Qを底に着実に回復
- 海外は自動車分野が半導体等のサプライチェーンの混乱が続き回復に遅れ

PV & Energy management

- 原油・石炭高騰、エネルギー危機(電力不足)が世界的に表面化、PVへの引き合い高まる
- 東京都の「2030年カーボンハーフ」に向けたPV設置義務化等の政策的動きが全国的に広がり、住宅向け高効率太陽電池の販売拡大
- ヘテロジャンクションPVの増産決定。PV設置による自己託送などCO₂削減に寄与する取り組みも積極的に推進

E & I Technology

- スマートフォン、大型テレビ市場のサプライチェーン全体の需給調整の影響を大きく受け、業績は前年を下回る
- アクリルフィルム用樹脂の生産能力40%増強決定
- 5G、フレキシブルディスプレイ、画像センサー部品などの市場を先回りした新しい製品開発に注力

Performance Fibers

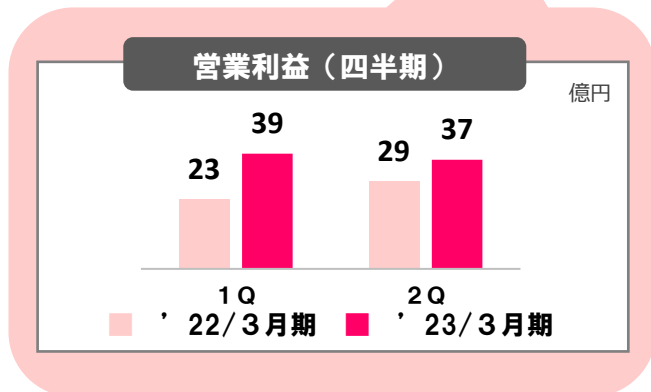
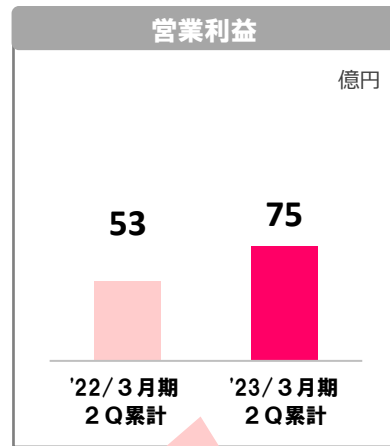
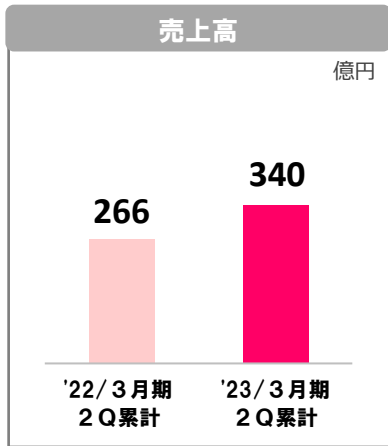
- 前年並みの業績
- 頭髮製品は今後のインフレによる需要減が考えられるが、差別化新製品の投入により需要拡大を図る
- 難燃資材向けはアジアでの販売が拡大



事業概況（Health Care Solutions Unit）

売上高 340億円（前年同期比 +27.7%）
営業利益 75億円（前年同期比 +43.0%）

大幅な増収増益



Medical

- 血液浄化器およびカテーテルの販売が国内外で順調に拡大し続ける
- ベトナム工場の生産能力を3倍に増強。米国の販売体制強化を着実に進め、Medical事業のグローバル展開を加速
- 新型コロナPCR検査薬の生産倍増、抗原検査キットも生産体制拡大する

Pharma

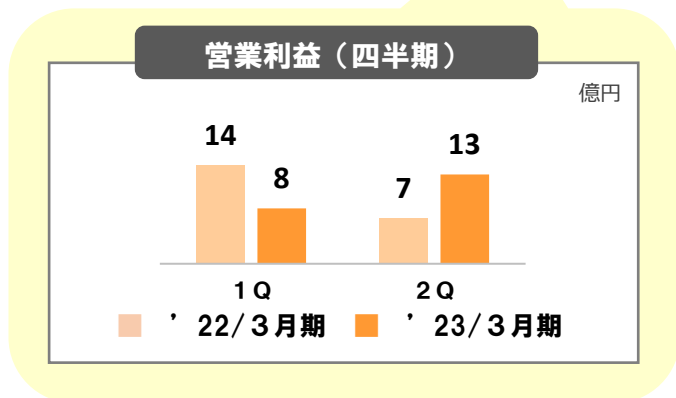
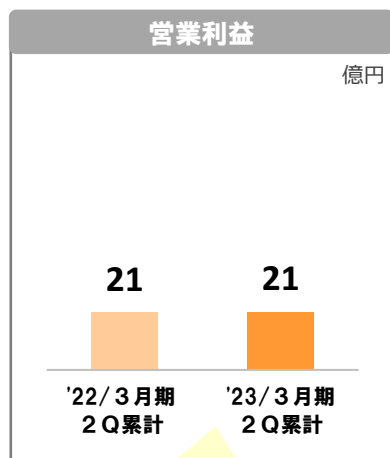
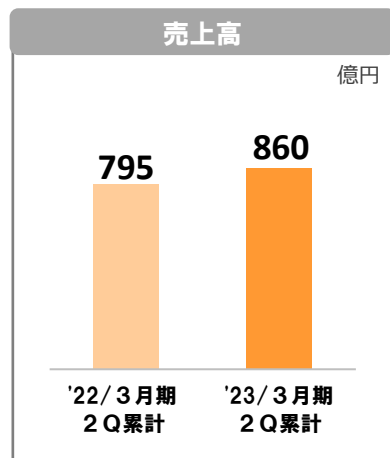
- カネカユーロジェンテックでのコロナワクチンなどバイオ医薬品CDMO事業が順調に拡大
- 事業基盤の拡大に向けてmRNA用生産設備の能力増強準備中
- 抗ウィルス薬新規大型案件や抗体医薬品精製用プロテインA担体の販売も業績に大きく寄与



事業概況（Nutrition Solutions Unit）

売上高 860億円（前年同期比 +8.2%）
営業利益 21億円（前年同期比 +0.8%）

2 Q累計の業績は、2 Qより回復し前年並み



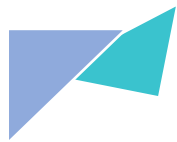
Supplemental Nutrition

- AB-Bioticsの乳酸菌事業の業績は大きく拡大、グローバル生産販売体制の強化を進める
- 還元型Q10の生産がフルに近づき、増産検討を進める
- 機能性表示食品の品揃え強化

Foods & Agris

- 食品値上げ報道等による買い控えが広がり、大型台風などの天候不良もあったが、価格改定や高付加価値品の販売拡大により業績は回復
- 8月新発売の機能性表示食品「わたしのチカラQ10ヨーグルト」「わたしのチカラQ10ヨーグルトドリンクタイプ」は、市場・マスコミの評価が高く、販売拡大
- おいしさと健康をテーマとした商品を充実させていく



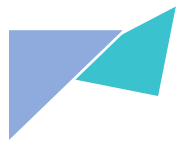


貸借対照表

(単位：億円)

	2022年3月末	2022年9月末	増減
資産の部			
流動資産	3,629	3,910	281
固定資産 等	3,640	3,845	205
資産合計	7,270	7,755	486
負債の部			
有利子負債	1,276	1,407	131
その他	1,871	2,008	137
負債合計	3,148	3,415	267
純資産の部			
自己資本	3,872	4,154	283
非支配株主持分 他	251	186	△ 64
純資産合計	4,122	4,340	218
負債、純資産 合計	7,270	7,755	486
自己資本比率	53.3%	53.6%	
1株当たり純資産	5,934.36円	6,200.32円	

- 総資産は、棚卸資産の増加等により増加
- 負債は、借入金の増加等により増加
- 純資産は、利益剰余金や為替換算調整勘定の増加等により増加

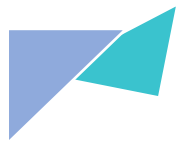


キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	2022年3月期 2Q累計	2023年3月期 2Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	201	104
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 169	△ 210
フリー・キャッシュ・フロー	32	△ 106
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 36	37
現金及び現金同等物の増減額 (含 換算差額、連結の範囲の変更に伴う増減)	0	△ 56
現金及び現金同等物の期末残高	464	352

- 営業CFは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費等により104億円の収入
- 投資CFは、有形固定資産の取得により210億円の支出
- 財務CFは、借入金の増加等により37億円の収入



連結業績予想の修正

(2023年3月期の連結業績見通し)

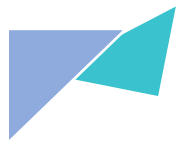
- IMFは、本年7月に2022年世界GDP成長率の見通しを3.2%へ引き下げ、10月には2023年の見通しを2.7%に引き下げ
- EU圏や米国の経済減速をはじめ中国・アジアの景気後退が表面化、世界経済は全体として後退感が強まる
- 2Qまでの業績及び今後の事業環境の見通しを踏まえ、2022年5月12日公表の連結業績予想を修正する

(単位：億円)

	2022年3月期	2023年3月期		増 減	
	実績	前回予想 (5/12)	修正予想	対前年	対前回予想
売上高	6,915	7,400	7,600	685	200
営業利益	436	480	400	△ 36	△ 80
経常利益	408	430	390	△ 18	△ 40
親会社株主に帰属する 当期純利益	265	280	270	5	△ 10
1株当たり当期純利益	406.01円	420.60円	410.05円		

【前提条件】 為替レート：140円/米ドル、140円/ユーロ 国産ナフサ価格：75,000円/KL

- 3Q以降については、Material SUの欧米・アジア市場の需給調整がどのくらいの震度でいつまで続くのかが鍵
スマートフォン・TVなどエレクトロニクス市場の需給調整も続くと想定
インフレが進むアフリカ市場の消費需要も回復が遅れる見通し
- 2Qまでに原材料高騰の影響を強く受けたFoam & Residential Techs SV、Foods & Agris SVでは価格改定が進み、
収益性が着実に改善する見込み
Health Care SUは、引き続き差別化力ある新製品の販売拡大を主体に着実に成長を維持し、増収増益が続く見通し



連結業績予想の修正（セグメント別）

- セグメント別には、下記のとおり業績予想を修正するものの、Material SUを除くすべてのセグメントで増収増益を確保する見通し。先端事業群の収益構成比を向上させ、着実にポートフォリオ変革を進める
- 事業環境の先行きがますます不透明ななか、当社は「Adaptability」力を最大限に発揮し、海外市場における強いグローバルネットワーク力を活かしながらコア事業群（Vinyls、MOD、Fiberなど）の競争力と先端事業群（Health Care、MSなど）の成長力を徹底して高め、収益基盤を強化していく

（単位：億円）

	売上高					営業利益				
	2022年 3月期	2023年 3月期		増 減		2022年 3月期	2023年 3月期		増 減	
	実績	前回予想 (5/12)	修正予想	対前年	対前回予想	実績	前回予想 (5/12)	修正予想	対前年	対前回予想
Material SU	2,999	3,200	3,400	401	200	364	340	310	△ 54	△ 30
Quality of Life SU	1,691	1,850	1,750	59	△ 100	169	205	170	1	△ 35
Health Care SU	589	695	710	121	15	127	158	160	33	2
Nutrition SU	1,626	1,645	1,730	104	85	51	68	68	17	-
その他	11	10	10	△ 1	-	5	5	5	-	-
調整額	-	-	-	-	-	△ 280	△ 296	△ 313	△ 33	△ 17
計	6,915	7,400	7,600	685	200	436	480	400	△ 36	△ 80

※SU：Solutions Unit

<IRに関するお問い合わせ>

IR・広報（Investors & Public Relations）部

TEL：03-5574-8090

株式会社 **力ネカ**